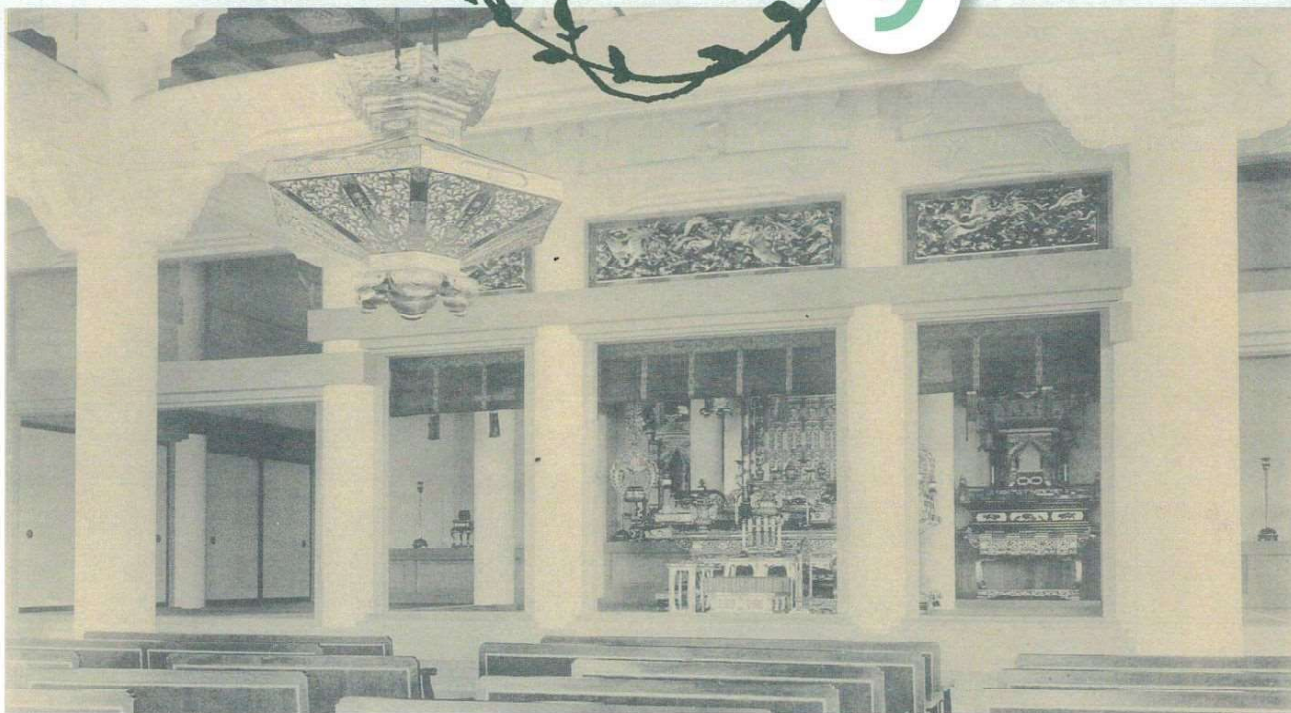


〒110-0012 東京都台東区竜泉 1-20-19  
 発行所 真宗 佛光寺派 西徳寺  
 TEL 03-3875-3351 FAX 03-3875-6796  
 発行人 山崎 哲  
 編集長 仲井 真裕  
 印刷 大進ラベル印刷(株) 03-3787-3621



令和4年  
9月号

大悲に生きる人とあう  
 願いに生きる人となる



関東大震災から7年後に再建(西徳寺本堂内、昭和5年10月)

## 西徳寺の予定

### 9月

- 3日(土) 午後1時 帰命法会  
 ~関東大震災100回忌を機縁として~(第一回)
- 7日(水) 燈虹塾セミナー
- 10日(土) 午後5時半 同行会「勸衆偈」に聞く  
 法話: 仲井 真裕
- 14日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 17日(土) 午後2時 定例間法会
- 20日(火)~26日(月) 秋季彼岸会
- 22日(木) 午後1時半 秋季永代経法要

### 10月

- 2日(日) 午後2時 城西ブロック会間法会  
 場所: 西徳寺
- 5日(水) 燈虹塾セミナー
- 8日(土) 午後5時半 同行会「勸衆偈」に聞く  
 法話: 大谷最高顧問
- 9日(日) 午後2時 城東ブロック会間法会
- 15日(土) 午後2時 定例間法会
- 19日(水) 午後1時半 婦人会間法会
- 23日(日) 午後2時 城南ブロック会間法会
- 30日(日) 午後2時 中央ブロック会間法会

※コロナ禍でありますので、予定は変更することがあります。  
 詳しくは寺務所までお問合せください。

## 顧問の一言

によらい  
 如来

如来は一如と言ひまして、あらゆる存在の源泉でしょう。脇仏二尊がまします阿弥陀如来には、勢至菩薩の知恵と観音菩薩の慈悲で阿弥陀如来のはたらしきを表しています。人間界で言えば、親の願いは父と母の願いによって育てられます。





## 9月の山門の言葉

### みずからの愚かさを知る人こそ賢者である

本願寺派僧侶 高下恵証師こうげえししょう

「警察密着24時」の特番が好きで、放送されているとついつい見てしまう。さまざまな犯罪やトラブルと、それに立ち向かう警察官、そして何よりあのナレーションがいい味を出している。

交通違反で捕まったトラックのドライバーは、なぜ自分が捕まったか理解できない。自分は違反をしていない。違反切符を切られることに納得いかないと、警察官に食ってかかる。しかし警察官の断固とした説得に、最終的には納得させられる。酔っ払いへの辛抱強い対応や喧嘩の仲裁等、事件の規模に大小はあれ、時に呆れたり、笑ったりと楽しく見ていられる。

なぜ楽しく見られるのか。それは番組で取り上げられる事件や事故が、自分に関係ないからである。当事者は、怒りや悲しみ、悲痛な思いでしかないはずである。

自分に直接関係ない事は「ああ、大変だな。かわいそうだな」と、どこまでも他人事。「自分はどうか。違反をしていないか。人に迷惑をかけていないか」と、自己を問うきっかけとして受け取れない。そういう私たちの姿を「愚か」という言葉で表している。

自分には直接関係のない事故や事件を縁として、自分自身の在り方を問題にできるか。それが仏から我々に願われている大きな使命だと思う。

「愚かさを知る」とは、愚かでなくなるのではなく、どこまでもこの身がかかえている「問い」を明らかにしていくことではないだろうか。賢者とは問いを大切に  
にする存在である。

(蓮井 邦宗 記)

### 秋季永代経法要のご案内

「暑さ寒さも彼岸まで」と言いますが、近年は9月に入ってもまだ夏のような暑さの日もあります。こうなると、日本の四季は少しずつ崩れてきたと言えるのかもしれない。

私たちが、これまで当たり前だと思っていたことは、変化していくことで、実は当たり前ではなかったということに気づかされます。

秋季永代経法要では、これまで生かされ、紡がれてきた私たちの「いのち」について、先立たれた方々を通し、皆様とご一緒に訪ねさせていただきたく思います。



山崎住職



高橋 淳

秋季彼岸会	9月20日(火)～9月26日(月)	
秋季永代経法要	9月22日(木)	午後1時半～ 永代経法要 午後2時頃～ 法話(山崎住職・高橋 淳)



※新型コロナウイルス感染状況を鑑み、感染対策をしてお参りください。



皆様の代わりに、お花・お線香等、お墓にお供えできます。

# うばだいしゃ ～共悩共歩～ テーマ「時代」

優婆提舍(うばだいしゃ)論議の意。  
経説等について仏や仏弟子が論議して意味を明らかにしたもの。  
(例:浄土論=無量寿経優婆提舍願生偈)



大阪・光福寺 玉出宗順住職と、坊守のみゆきさん

今回は西徳寺OB、大阪・光福寺の玉出宗順住職と、坊守のみゆきさんにお話を伺いました。

玉出さんは大学を卒業後、京都の中央仏教学院で2年間学ばれ、24歳で法務員として西徳寺に入寺。平成11年～平成21年まで在籍され、その間、婦人会・城東ブロック会・同行会等を担当し、多くのご門徒様、会員様に「玉ちゃん」の愛称で呼ばれる、愛されキャラだったことを思い出します。

## 【西徳寺での学び】

大阪に戻って感じることは、勉強する時間が減ったこと。西徳寺にいる時は聞法会も多く、一緒に勉強する仲間がいたので、嫌でも学ぶ時間がありました。

今思えば勉強する時間や、仲間と一緒に語り合った時間というのは、貴重であり贅沢な時間だったと思います。

## 【大阪へ戻って始めたこと】

大阪の仏教青年会の仲間から、雅楽演奏の誘いを受け、龍笛りゅうてきを始めました。

現在では先輩のお寺にて開催される、「寺子屋ががく教室」で

指導する先生のサポートをしたり、自身も練習を重ね、法要での演奏も行ってきました。

(※真宗寺院の大きな法要では、雅楽の演奏から始まる事もあり、その音色は厳かな雰囲気を作り出します。西徳寺での法要にも是非お越し頂きたいですね。)

## 【これからのお寺について】

令和2年に光福寺住職に就任しました。しかし、コロナ禍であることを考慮し、住職継職奉告法要が出来ませんでした。令和4年10月11日に住職継職奉告法要を厳修する運びとなりました。

時間は少し経ってしまいましたが、住職になってやりたいことは、落語会を開催したいと思っています。先ず以て、ご門徒様にもっとお寺を好きになってくれるようにしたいです。多くの方が出入りしやすいお寺が理想です。

《坊守・玉出みゆきさん》普段は、法事や法要でピリッとした緊張感のある中お参りに来られますが、それでも来て良かったと思えたら嬉しいですね。また、お寺を好きになっていただける事と、ご門徒様と一緒に学べるようなお寺になれば良いと思います。

.....

今回は突然の取材にも、快くお引き受け下さり本当に有り難かったです。また、お寺とはどんな役目があるのか、ということも私の宿題として頂いた取材となりました。

(聞き手 大橋 伊知郎)





「二代墓地」、各種墓地、受付中。墓石への法名刻みはお問い合わせください。



## 坊さんのツブヤッター

会館の障子張り替えをしています。まだまだほんの一部しかできていませんが、頑張ります！



@ジュンエン



#とりあえず破れたところ優先で #最近のはアイロンでくっつけられる障子紙があってビックリ

## えこお志お礼

北区 小山 光子 様  
千葉県 鈴木 秀夫 様  
ご浄財を頂戴いたしましてありがとうございます。  
ご芳名の掲載をもってお礼とさせていただきます。



## 内愚外賢

～賢者の信を聞いて、  
愚禿が心を顕す～

娘が育てていた朝顔が枯れていたことがありました。私と妻が、「捨てるしかないね」と言うと、娘が「朝顔も命なんだよ」と語気を強めます。一瞬、ハッとさせられたのですが、「みんなで食べている食事も、命をいただいているんだよ」とつい言葉が出ました。

最近、特定の宗教団体の問題が話題となり、改めて宗教とは何か、考えさせられています。

宗教とは文字通り、宗の教え、物事の根本の教えです。宙に浮いた個人の理想や幸せを求めるのではなく、私を支える根本に帰るのが、本当の宗教なのではないでしょうか。私たちは多くの命、人々の力をいただき、今を生きています。食事をいただく際の合掌から、見直していきたいと思います。（編集長 仲井真裕）



夏休み、水族館に行きました

えこおに対するご意見・ご感想、お待ちしております。

✉ [saitokuji@ce.wakwak.com](mailto:saitokuji@ce.wakwak.com)  
🌐 <http://saitokuji.tobihiro.jp/>



ホームページ

ゆうちょ銀行お振り込み口座  
00120-0-80670 名義 西徳寺



Facebook